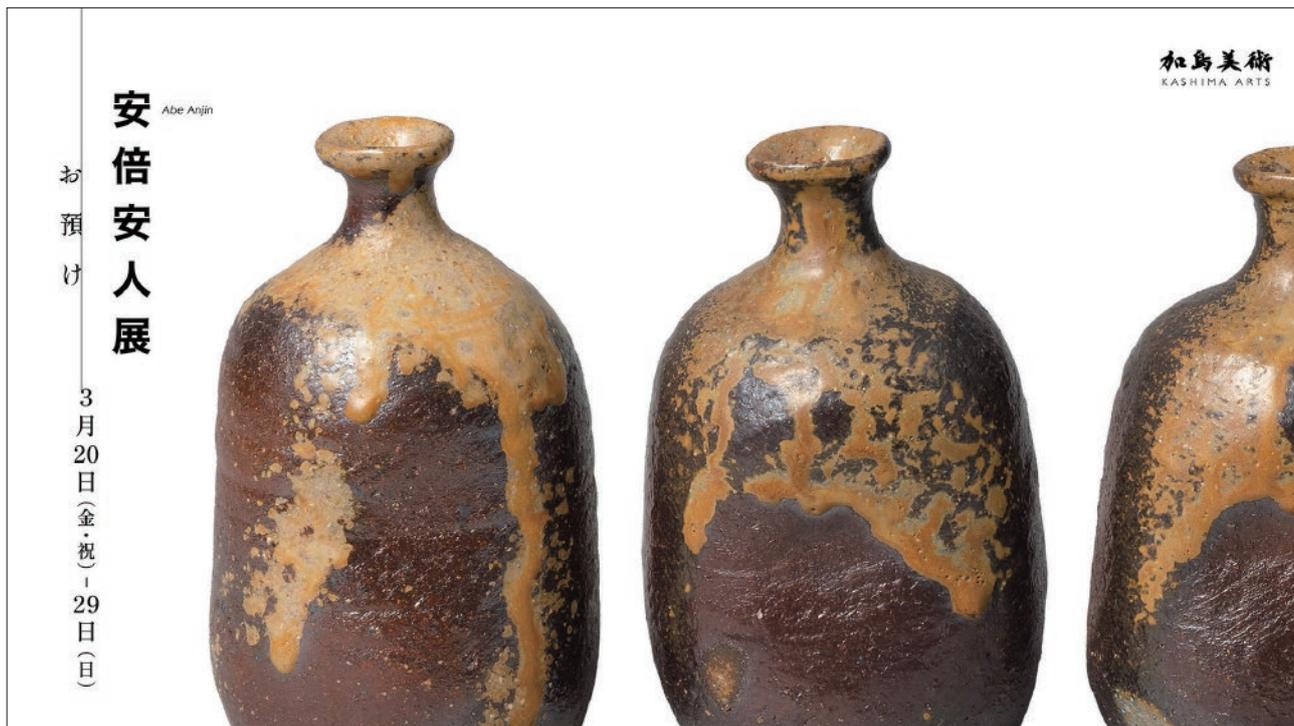


簡古質朴な造形と唯一無二の彩色が織りなす作陶の世界

加島美術にて備前焼の鬼才・安倍安人の個展開催

会期：2026年3月20日(金・祝)～3月29日(日)

時間：10:00～18:00(会期中無休/入場無料/販売有)



加島美術（東京・京橋）では、2026年3月20日（金・祝）から3月29日（日）まで、備前焼の鬼才・安倍安人による個展「安倍安人展—お預け—」を開催いたします。本展は、加島美術での四度目の安倍安人展となります。加島美術にて開催する安倍安人の個展としては初の出品となる《お預け徳利》をはじめ、新作を中心に48点をご紹介します。

米寿を迎える備前焼の鬼才・安倍安人は、桃山古備前の探究と独自の作陶や焼成の研究を重ね、赤・青・黄・緑のあざやかな色彩を備前に融合させた「彩色備前」という新たな表現を確立しました。その作品は京都国立近代美術館、ニューヨーク・メトロポリタン美術館、台湾・故宮博物院をはじめ国内外の美術館に収蔵され、海外での個展も多数開催されるなど国際的に高い評価を受けています。

本展では、加島美術にて開催する安倍安人の個展としては初となる、茶事において亭主の代役を務め、客同士の語らいをもたらす道具「お預け徳利」を出品いたします。また桃山古備前への深い洞察に基づく水指・花入・茶碗・扁壺・徳利・酒器といった備前焼・伊部焼を出品するほか、ユニークな彫り模様とあざやかな彩色が織りなす「彩色備前」や、今年の干支にちなみ、馬を描いた彩色の酒器も発表いたします。作家活動の原点である油彩画を含めた48点。桃山古備前の風格漂う簡古質朴な造形と唯一無二の彩色が共存する作品群を通して、古典の本質を踏まえた表現の深化をご覧ください。

【作家プロフィール】

1938年大阪市に生まれ、21歳から現代美術研究所・宮本三郎教室に学ぶ。30代から本格的に陶芸の道に入り、岡山県瀬戸内市牛窓町に築窯。1996年、ニューヨークにて海外での初個展「安倍安人展」を開催。その後、フランスでの個展「ANJIN ABE」展(2002年、パリ)開催、アメリカ「Arts of Pacific Asia Show」(2008年、サンフランシスコ)出品など国外にも活躍の領域を広げる。昨年は襟・壮園美術館(台湾)にて個展を開催。また、島根デザイン専門学校設立時に陶芸部門の企画を担当。積極的に学術講演を行うなど、後進の育成と陶芸の普及にも力を注いでいる。



IAC・国際陶芸アカデミー会員、古田織部美術館「織部賞」受賞
作家 Web サイト：<http://www.abe-anjin.com/>

【PUBLIC COLLECTIONS】

[日本] * 収蔵年順

愛媛県立美術館、沼津御用邸 100 周年記念公園(茶室什器：茶入、花入、水指、茶碗等)、島根県横田町芸術の森モニュメント、笠間日動美術館、京都国立近代美術館(2点収蔵)、西条松平神社 宝物館、絲原記念館、ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)、大宰府天満宮宝物殿、加納美術館、中島美術館、兵庫陶芸美術館、緑ヶ丘美術館、古田織部美術館

[海外]

アリアナ美術館(スイス・2点収蔵)、ミント美術館(アメリカ)、ニューヨーク・メトロポリタン美術館(アメリカ／3点収蔵)、ミュージアム・オブ・デコラティブ・アーツ・アンド・デザイン(ラトビア)、アジア・アート・ミュージアム(アメリカサンフランシスコ／2点収蔵)、アトリエ・ダール・ド・フランス(フランス)、ニューメキシコ美術館(アメリカ)、アート・アンド・デザイン国立大学(アイルランド)、故宮博物院(台湾／3点収蔵)、フィッツウィリアム美術館(イギリス)、新北市立鶯歌陶瓷博物館(台湾)

【出展作品 一部抜粋】



《備前お預け徳利》17.7×10.1 cm



《備前水指》替蓋付 21.1×21.7×21.1 cm



《彩色備前毛ノ》22.5×20.5×19 cm



《彩色備前瓢徳利》13.4×8.4 cm



《伊部茶碗》8.4×12.6 cm



《彩色備前酒器》6.7×8.3×7.6 cm etc.



《設》キャンバスボード 60号
乾漆 油彩 131×97 cm

